

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	政治学A		
英文授業科目名	Politics A		
開講年度	2008年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	梶浦 篤		
居室	東1-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kajiura@hc.uec.ac.jp	なし

<p>【主題および達成目標】</p> <p>「政治」という言葉から、皆さんはどのようなことを連想しますか？「お金」？「わいろ」？「腐敗」？あまり良い言葉は、浮かんで来ないかもしれません。けれどももし、「政治はわかりにくい。だから選挙にも行かない」などと言っていたらそれこそ大変なことになりかねません。3分の1以上の人々の賛成が得られたなら、その政策は受入れられるという説があります。だいたい3分の1以上の人々は選挙に行かないため、残る3分の2のうちの過半数が賛成したならば、多数決で通ってしまうということです。多数決は、少数意見を尊重できるとは限らないので、最善の手段とは言えませんが、それぞれが3分の1の賛成で決まってしまうというわけです。</p> <p>だから、我々は選挙に行かなければなりませんし、そのためには、政治を理解しなければなりません。そして、政治のよしあしを判断する基準は、何よりもまず、それが民主主義にのっとっているかどうか、ということですから、我々は民主主義を理解しなければなりません。授業では、教科書や時事問題を題材にして、民主主義とはどういうものなのか、またそれを実現するためには、我々はどのように考え、行動していかなければならないのかということ、皆で一緒に探っていきたいと思います。</p> <p>「政治学」はそもそも、世の中により良き政治をもたらすことを目的としたものなのです。そして、よりよき政治を築き上げていくために、我々は「政治学」を学んで、「市民」としての自覚を持つようにならないといけないのです。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし</p>
--

電気通信大学 平成20年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし

【教科書等】

テキスト：山本佐門『現代国家と民主政治』北樹出版、2005年（1800円）。
概ね、第1章（政治現象と政治学の領域）、第2章（国家と国家権力）を扱うことを予定しています。

このほか、プリントも配ります。

【授業内容とその進め方】

皆さんは、「政治学」というと、暗記科目と思うかもしれませんが、「政治学」を学ぶ際には、物事を暗記することよりも物事を考えることの方が、ずっと重要となります。従って、皆さんにより深く考えてもらうため、時々こちらから指名して意見を求めることもあります。その時は積極的に答えて下さい。宿題を出すこともあります。

概ね、テキストに沿って授業を進めますので、テキストの目次を参照してください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートによって評価します。課題は論述式です。詳しくは追って通知します。

評価基準は、一概には言えませんが、おおよそ以下のようなことが目安となると言えましょう。

- S：民主主義について、opinion leader になれるとみなされる。
- A：民主主義について、自分自身の意見を持っているとみなされる。
- B：民主主義について、よく理解しているとみなされる。
- C：民主主義について、基本的なことは理解しているとみなされる。

従って、授業で学んだことを理解しただけで、それをもとにして自分自身で考えることをしなかったならば、高得点は望めません。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、事前に予約を取って下さい。

【学生へのメッセージ】

頭の中だけではなく、心の中でも考えましょう。
机の上で考えるだけではなく、歩いて考えることもしましょう。
身の回りのことを考えるだけではなく、地球規模でも考えましょう。

電気通信大学 平成20年度シラバス

--

【その他】
なし